

# 加茂健康づくりウォークの記

## 10月3日（土）妹尾、箕島方面

台風の影響で関東・東北地方では記録的な豪雨に見舞われ思わぬ災害が発生した九月も終わり、十月に入って天候は好転して、きょうの瀬戸内は高気圧に覆われ、日中は爽やかな秋晴れになり、昼間の気温は26～27度との予報。絶好のウォーク日和を迎える。

◇7時30分、高松駅に集合。準備体操をして、8時発の電車で瀬戸大橋線の妹尾駅に着く。参加者22名と4人の「妹尾箕島を語る会」のガイドの人と落ち合い。12カ郷用水の末端四つ樋に向う。



◇狭い通りを抜けて、戸川陣屋の井戸に出る。急坂を登り妹尾太郎兼康の陣城州浜城祉に着く。下って栗村神社に参拝。



◇神社の坂下にあるつちの井戸を見学。 県道岡山児島線を進んで跡不見観音寺に参拝。十二カ郷用水の汗入隧道を覗く。



◇住田遺跡に廻り、小学校前から盛隆寺に参拝。本堂裏の戸川家の墓地を見学して御前神社に参拝。



◇桜並木を通して妹尾公民館に着き、館内の一部屋を借りて昼食を摂る。



◇妹尾地区に別れをつけ、県道倉敷妹尾線を西進して箕島神社に参拝、記念写真を撮る。県道岡山児島新線を南下して正福寺に参拝。下山の後、箕島無人駅構内に入る。歩数、18,200歩余り。



加茂の我われにとっては、妹尾・箕島地区は日蓮宗を通じて親近感のある地域である。

「妹尾千軒皆法華」と言われた嘗ての姿は余り感じられないほど新興の住宅が密集して建ち、道路網が広がり時代を突っ走っているような感じはしたが、歴史遺構は多く、とりわけ真水の湧く井戸の遺構が多く、海拔 2m といわれる低地の住民の生活にとっていかにそれが大事であったかを再認識させられた。

秋晴れの空のもと「語る会」の方々の懇切な案内を受け、充実した見学ができ、楽しいウォークを満喫できた。天地人の恩恵に浴したという思いのした一日であった。次回もかくあつてほしいと祈る。